令和４年度

行政評価（実施計画（施策））外部評価

令和５年 10 月

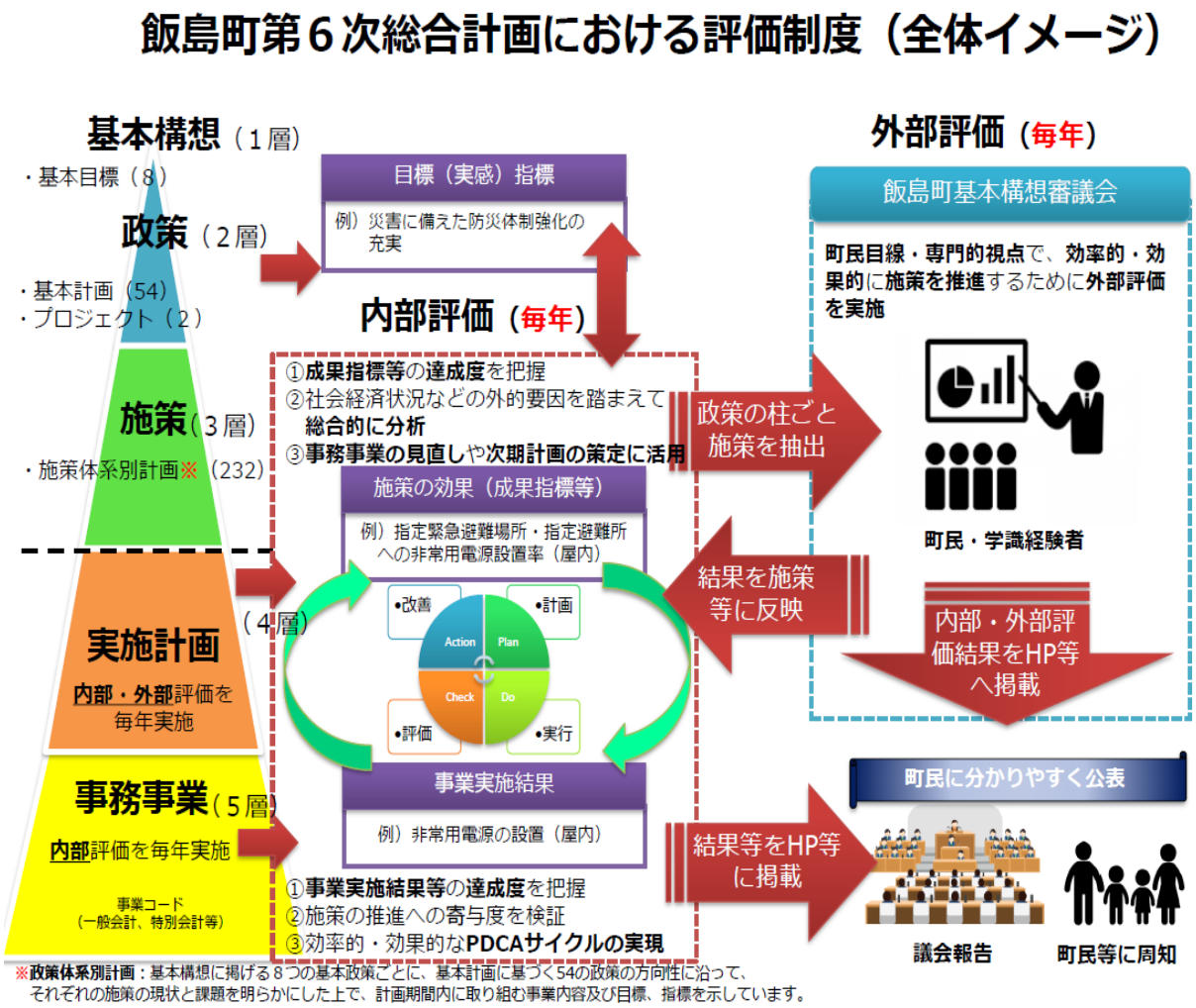
飯島町

Ⅰ　飯島町の施策評価・事務事業評価制度

1　目的

行政の施策を評価しマネジメントサイクル（PDCA サイクル）を確立することで、施策の改善を導き、効率的で成果を重視した行政と開かれた行政を推進します。

2　体系図



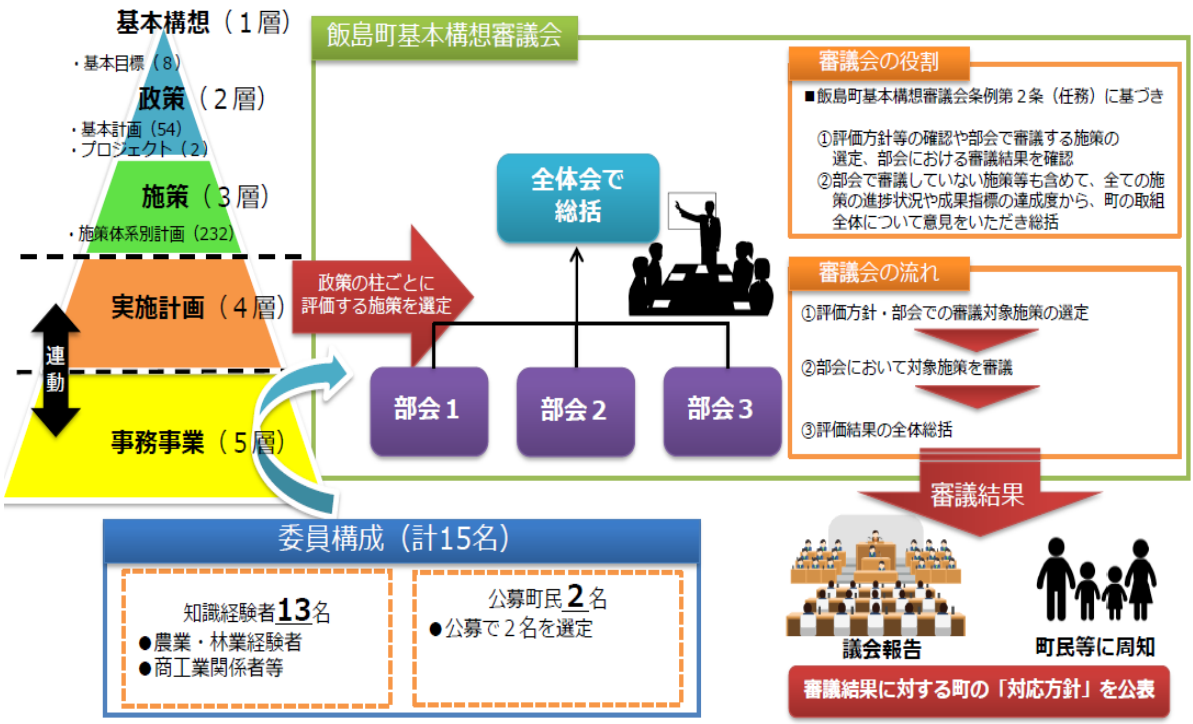
「**実施計画（施策）評価**」は、施策評価シートを活用し、成果指標等を通じて、配下の事務事業の効果を検証できるようにすることで、施策と事務事業の関係性を明確化し、事業の見直しに繋げます。

「**事務事業評価**」は、事務事業評価シートを活用し、効率的・効果的な進行管理となるよう、施策評価シートと連動することにより、事業の必要性や有効性、効率性などを客観的に評価できるようにし、効果的な PDCA サイクルの実現に繋げます。

Ⅱ　外部評価

町民目線・専門的視点で、効率的・効果的に施策を推進するために、実施計画（施策）評価について外部評価を実施します。

1　外部評価の全体イメージ



2　評価者

第三者機関による評価として、基本構想審議会の委員が行います。

3　評価対象

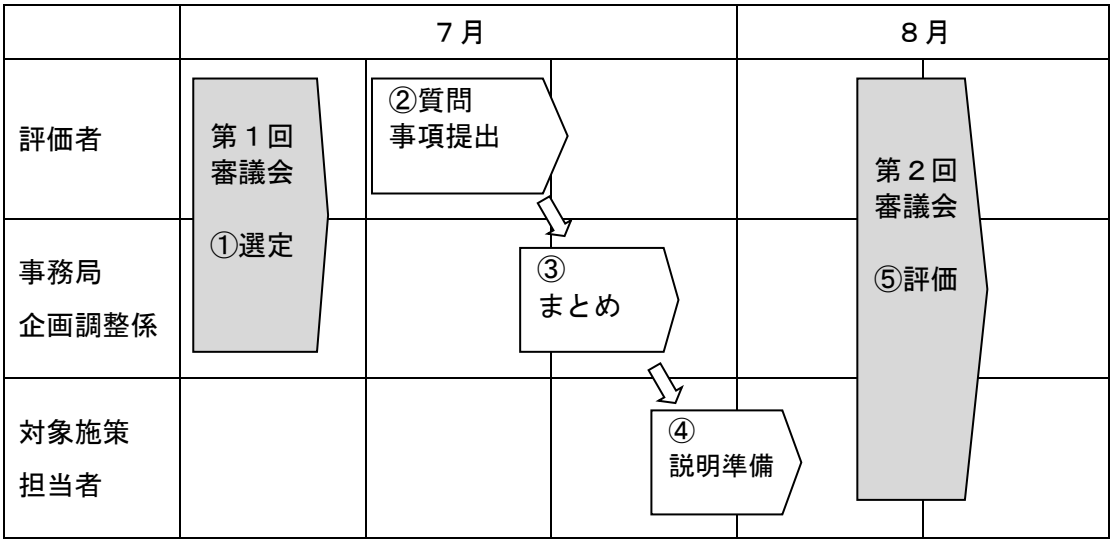
飯島町第６次総合計画に基づく８つの基本目標ごとに評価する施策を１施策（事業）選定し、評価を行います。

4　評価方法

選定された評価対象施策について部会ごとヒアリング等を実施し、審議します。

各部会の審議結果を全体会で確認し、評価を確定します。

5　外部評価【スケジュールイメージ】



6　外部評価のポイント

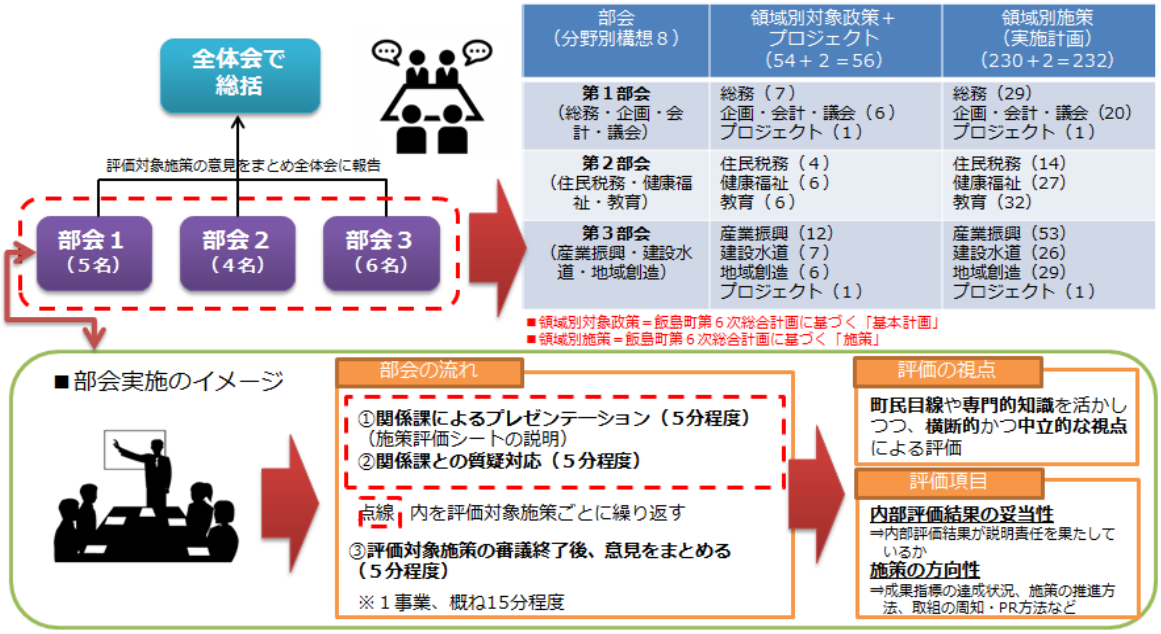
・外部評価の対象施策は、政策の柱ごとに選定され、選定された施策の担当者は、施策の説明を十分に行います。

・審議会では、施策の進捗状況や成果指標の達成度から、総合的に評価を行い、意見を付して町に提出します。

・審議会の附帯意見について、町の対応方針を作成・公表し、今後の取組改善や次期実施計画に活用していきます。

7　外部評価における部会の役割と進め方

（１）**選定した各施策を重点的に審議するため、**以下の分野別に分けた部会を設置し、選定した施策を重点的に審議する
（２）部会を構成する委員は、学識経験者と町民公募の体制で行う
（３）部会の審議終了後、**意見をとりまとめ、全体会に報告する**



部会（分野別構想８）	領域別対象政策＋プロジェクト（54＋２＝56）	領域別施策（実施計画）（230＋２＝232）
第１部会（総務・企画・会計・議会）	総務（７） 企画・会計・議会（６） プロジェクト（１）	総務（29） 企画・会計・議会（20） プロジェクト（１）
第２部会（住民税務・健康福祉・教育）	住民税務（４） 健康福祉（６） 教育（６）	住民税務（14） 健康福祉（27） 教育（32）
第３部会（産業振興・建設水道・地域創造）	産業振興（12） 建設水道（７） 地域創造（６） プロジェクト（１）	産業振興（53） 建設水道（26） 地域創造（29） プロジェクト（１）

■領域別対象政策＝飯島町第６次総合計画に基づく「基本計画」
■領域別施策＝飯島町第６次総合計画に基づく「施策」

８　外部評価シート　イメージ

令和４年度 実施計画（施策評価シート）

１　施策の概要

政策体系上の位置づけ	基本構想（１層）	１.住民と行政の創合力による安全で安心なまちづくり			
	基本計画（２層）	１-（１）災害に備えた防災体制の充実			
	施策（３層）	１-（１）-３　避難所の感染症対策と備蓄品の充実			
	プロジェクト				
担当課	総務課	担当係	危機管理係	行財政改革プラン記載の有無	無
関係課	避難所開設担当：住民税務課、健康福祉課、地域創造課、教育委員会				
施策の主な課題	・災害有事に備えた衛生用品や防災用品の拡充 ・保管場所の慢性的な不足 ・災害有事における救援物資の荷受け・配給拠点の確保				
施策の方向性	南海トラフ巨大地震などの震災や豪雨災害など、万一の災害に備え、防災体制や施設の整備・充実を図ります。 ・災害有事に備えた衛生用品や防災用品の拡充や更新 ・避難所開設マニュアルや運用マニュアルに沿った適切な対応 ・防災用品や衛生用品の保管場所及び災害有事における救援物資の拠点確保の検討調整				

２　成果指標状況と成果の分析

成果指標		総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）		目標実績	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位等
	1	災害用飲料水の備蓄数（１箱12リットル）		目標値a	250	250	250	250	250	箱
				実績値b	192	168				
		指標の説明	「飯島町地域防災計画」に基づき想定される災害用飲料水の備蓄数 ①人口×5%（9,500人×5%）＝475人 ②1人1日3リットル×475人×2日＝2,850リットル	達成率（b/a）	76.8	67.2	0	0	0	%
	2	災害用非常食の備蓄数		目標値a	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	食
				実績値b	3,150	3,150				
		指標の説明	「飯島町地域防災計画」に基づき想定される災害用非常食の備蓄数 ①人口×5%（9,500人×5%）＝475人 ②1人1日3食×475人×2日＝2,850食	達成率（b/a）	105	105	0	0	0	%

定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）	
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）	●災害用飲料水は、備蓄総数が減少しておりますが、賞味期限（更新期）を平準化するための一時的な措置であるため、やむを得ないと考えています。今後数年で更新期の波を抑えた備蓄数の確保を予定しています。

3　施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事業コード 事業名	事務事業の概要 （簡素に記載）	主な取組実績	事業費（千円） 年度	予算額	決算額
1	1861 防災対策費	●あらゆる災害に備えるとともに、職員防災体制の強化及び装備品や備蓄品の拡充 ●自助・共助の質を高めることによる住民主体の防災力の向上	●指定避難所の非常用電源未配備の施設に、非常用蓄電器を４基配備することにより、災害有事における避難所の電源確保に備えることができました。●防災ガイドブックを改定し、新たな避難情報や感染症対策などを追加したほか、マイタイムライン（私の避難行動計画）作成シートを差し込み全戸配布することで、防災意識の向上を目指しました。●非常食や飲料水について、前年度改めた計画に沿って更新を図り、有事に備えた備蓄を維持しました。●老朽化が進む防災無線操作卓の更新について、機能強化を含め検討を行い、次年度の改修に向けて事務を進めることができました。	Ｒ３	25,292	24,172
				Ｒ４	16,837	16,506
				Ｒ５	69,541	

4　施策の進捗状況

	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
施策の進捗状況 （指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価）	**Ａ．順調に推移している** （目標達成している） **Ｂ．一定の進捗がある** （目標達成に向けて進捗している） **Ｃ．進捗は遅れている** （目標達成が遅れる可能性がある） **Ｄ．進捗は大幅に遅れている** （目標達成が難しい可能性がある）	B	●非常用非常食は必要数を確保し、非常用飲料水についても、賞味期限（更新期）の平準化の過程であることから、今後も計画的に進めていくため。

5　今後の方向性

	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
今後の事業構成の妥当性 （手段は妥当か）	**Ⅰ．効果的な事業構成である** （現状のまま継続する） **Ⅱ．概ね効果的な構成である** （一部見直し等の余地がある） **Ⅲ．あまり効果的な事業構成でない** （見直し等の余地が大きい） **Ⅳ．事業構成に問題がある** （抜本的な見直し等が必要である）	Ⅰ	●災害用飲料水や非常食は、賞味期限を把握し、適正な補完と更新に努めるほか、有事の際には必要とされる方に速やかに提供することとします。

6　外部評価の所見

評価者記入

7　所見を踏まえた改善点

担当者記入

Ⅲ　申し合わせ事項

(1) 評価には特別な知識等を要さない。
(2) 全く知らなかった事業を評価する場合でも、審査会議（ヒアリング）において、事業の説明を聞き取り、「理解できた」「できなかった」も含め住民目線で評価する。
(3) 特定の企業や団体、個人への利益誘導につながる行為は行わない。
(4) 評価者が関わる事業へ、具体的な要望等を伝えない。

Ⅳ　外部評価対象施策

No.	基本目標	政策（基本計画）	施策	所管係等	頁
1	1	(1) 災害に備えた防災体制の充実	3 避難所の感染症対策と備蓄品の充実	危機管理係	7
2	2	(1) 低炭素・循環型のまちづくり	1 再生可能エネルギーの普及促進	生活環境係	9
3	3	(4) みんなが支え合う地域福祉の実現	4 地域での居場所づくりの推進	地域福祉係	11
4	4	(4) 就農希望者への積極支援	1 「アグリイノベーション2030」の仕組みづくり	農政係	13
5	5	(4) 住宅施策と空き家対策	3 特定空家等候補の抑制と空き家の適正管理及び利活用の促進	調査計画係	15
6	6	(3) 若者や子育て世代の人口を増やす	2 若者がＵターンしたいと思える働き方や生活環境の整備	定住促進室	17
7	7	(2) 学校教育の充実	2 ＩＣＴを活用した教育環境の充実と教育の推進	こども室	19
8	8	(1) 将来像を目指す仕組みづくり	2 プロジェクトチームの編成による施策の推進（人口増プロジェクト※）	企画調整係	21
9	8	(4) 公共施設の適正管理・有効活用	2 施設の総量を段階的に減らす取り組み	財政係	23
10	—	飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト※	豊かな森林や水資源を安定活用する強靭化を進め、木質バイオマス発電や水力発電により資源の地産地消や自主財源を図る「飯島ルネサンス」に取り組みます。	循環ライフ構想推進室	25

※分野横断的な重点施策

Ⅴ　評価結果

外部評価実施日：令和５年８月18日

令和４年度 実施計画（施策評価シート）

1　施策の概要

政策体系上の位置づけ	基本構想（１層）	1.住民と行政の創合力による安全で安心なまちづくり
	基本計画（２層）	1－（1）災害に備えた防災体制の充実
	施策（３層）	1－（1）－3　避難所の感染症対策と備蓄品の充実
	プロジェクト	

担当課	総務課	担当係	危機管理係	行財政改革プラン記載の有無	無

関係課	避難所開設担当：住民税務課、健康福祉課、地域創造課、教育委員会
施策の主な課題	・災害有事に備えた衛生用品や防災用品の拡充 ・保管場所の慢性的な不足 ・災害有事における救援物資の荷受け・配給拠点の確保
施策の方向性	南海トラフ巨大地震などの震災や豪雨災害など、万一の災害に備え、防災体制や施設の整備・充実を図ります。 ・災害有事に備えた衛生用品や防災用品の拡充や更新 ・避難所開設マニュアルや運用マニュアルに沿った適切な対応 ・防災用品や衛生用品の保管場所及び災害有事における救援物資の拠点確保の検討調整

2　成果指標状況と成果の分析

成果指標		総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）		目標実績	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位等
	1	災害用飲料水の備蓄数（１箱12リットル）		目標値a	250	250	250	250	250	箱
				実績値b	192	168				
		指標の説明	「飯島町地域防災計画」に基づき想定される災害用飲料水の備蓄数 ①人口×5%（9,500人×5%）＝475人 ②1人1日3リットル×475人×2日＝2,850リットル	達成率（b/a）	76.8	67.2	0	0	0	%
	2	災害用非常食の備蓄数		目標値a	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	食
				実績値b	3,150	3,150				
		指標の説明	「飯島町地域防災計画」に基づき想定される災害用非常食の備蓄数 ①人口×5%（9,500人×5%）＝475人 ②1人1日3食×475人×2日＝2,850食	達成率（b/a）	105	105	0	0	0	%

定性的な成果（取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）	
指標等の成果分析（指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）	●災害用飲料水は、備蓄総数が減少しておりますが、賞味期限（更新期）を平準化するための一時的な措置であるため、やむを得ないと考えています。今後数年で更新期の波を抑えた備蓄数の確保を予定しています。

3　施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事業コード 事業名	事務事業の概要 （簡素に記載）	主な取組実績	事業費（千円） 年度	予算額	決算額
1	1861 防災対策費	●あらゆる災害に備えるとともに、職員防災体制の強化及び装備品や備蓄品の拡充 ●自助・共助の質を高めることによる住民主体の防災力の向上	●指定避難所の非常用電源未配備の施設に、非常用蓄電器を４基配備することにより、災害有事における避難所の電源確保に備えることができました。●防災ガイドブックを改定し、新たな避難情報や感染症対策などを追加したほか、マイタイムライン（私の避難行動計画）作成シートを差し込み全戸配布することで、防災意識の向上を目指しました。●非常食や飲料水について、前年度改めた計画に沿って更新を図り、有事に備えた備蓄を維持しました。●老朽化が進む防災無線操作卓の更新について、機能強化を含め検討を行い、次年度の改修に向けて事務を進めることができました。	Ｒ３	25,292	24,172
				Ｒ４	16,837	16,506
				Ｒ５	69,541	

4　施策の進捗状況

	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
施策の進捗状況 （指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価）	**Ａ．順調に推移している** （目標達成している） **Ｂ．一定の進捗がある** （目標達成に向けて進捗している） **Ｃ．進捗は遅れている** （目標達成が遅れる可能性がある） **Ｄ．進捗は大幅に遅れている** （目標達成が難しい可能性がある）	B	●非常用非常食は必要数を確保し、非常用飲料水についても、賞味期限（更新期）の平準化の過程であることから、今後も計画的に進めていくため。

5　今後の方向性

	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
今後の事業構成の妥当性 （手段は妥当か）	**Ⅰ．効果的な事業構成である** （現状のまま継続する） **Ⅱ．概ね効果的な構成である** （一部見直し等の余地がある） **Ⅲ．あまり効果的な事業構成でない** （見直し等の余地が大きい） **Ⅳ．事業構成に問題がある** （抜本的な見直し等が必要である）	Ⅰ	●災害用飲料水や非常食は、賞味期限を把握し、適正な補完と更新に努めるほか、有事の際には必要とされる方に速やかに提供することとします。

6　外部評価の所見

●引き続き、避難所の感染症対策を強化しつつ計画的な備蓄品の確保をするとともに、各区・自治会との連携の強化を図ることを望む。

7　所見を踏まえた改善点

●今後も、避難所環境の向上をはじめ必要な備蓄品の確保と計画的な更新を図るとともに、各自主防災会とは避難所開設や運営、情報伝達等について、より一層の連携強化に努めてまいります。

令和４年度 実施計画（施策評価シート）

１　施策の概要

政策体系上の位置づけ	基本構想（１層）	２．美しく快適な暮らしの環境を将来へつなぐ			
	基本計画（２層）	２－（１）低炭素・循環型のまちづくり			
	施策（３層）	２－（１）－１　再生可能エネルギーの普及促進			
	プロジェクト	１．飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト			
担当課	住民税務課	担当係	生活環境係	行財政改革プラン記載の有無	無
関係課	企画政策課、建設水道課、産業振興課、地域創造課				
施策の主な課題	・再生可能エネルギーの導入に向けた目標設定と施策の検討が必要 ・野立てによる太陽光発電施設の乱立抑制				
施策の方向性	美しい自然にはぐくまれた快適で豊かなくらしを実現し、将来の世代に引き継いでいけるよう、省エネルギーや再生可能エネルギーの普及促進をはじめとする環境施策を推進します。 ・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向けた、再エネ導入戦略の検討 ・地球温暖化対策設備設置補助金の新設（既設の太陽光発電施設設置事業及び太陽熱利用システム設置補助は、新設する地球温暖化対策設備設置補助金に統合）				

２　成果指標状況と成果の分析

総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）				目標実績	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位等
成果指標	1	太陽光発電システム設置補助事業件数（延数）		目標値a	332	343	354	365	376	件
				実績値b	327	333				
		指標の説明	家庭用発電量10kw以下の設置延数（飯島町第６次総合計画）	達成率(b/a)	98.49	97.08	0	0	0	%
	2			目標値a						
				実績値b						
		指標の説明		達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）	
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）	●一般家庭への太陽光発電設備の導入にあたって、施主や住宅メーカーに補助制度が十分認知されていない。 ●既存住宅への太陽光発電設備の導入が進んでいない。

３　施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事業コード 事業名	事務事業の概要 （簡素に記載）	主な取組実績	事業費（千円）		
				年度	予算額	決算額
1	2872 新エネルギー普及対策事業	●飯島町新エネルギービジョン改訂に向け、策定委員会を設置して検討 ●地球温暖化対策実行計画（区域編）の策定について研究	●地球温暖化対策実行計画策定業務をプロポーザル方式により委託しました。 ●策定委員会により地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を検討しました。（３回） ●飯島町カーボンニュートラル宣言とキックオフイベントを開催しました。 ●新築住宅における太陽光発電設備導入に補助しました。（６件） ●一般住宅における太陽熱システム設置に補助しました。（１件）	Ｒ３	5, 466	5, 083
				Ｒ４	5, 284	4, 749
				Ｒ５	10, 714	

４　施策の進捗状況

	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
施策の進捗状況 （指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価）	**Ａ．順調に推移している** （目標達成している） **Ｂ．一定の進捗がある** （目標達成に向けて進捗している） **Ｃ．進捗は遅れている** （目標達成が遅れる可能性がある） **Ｄ．進捗は大幅に遅れている** （目標達成が難しい可能性がある）	**Ｂ**	●新築住宅における太陽光発電設備導入に６件の申請（実績）がありましたが、目標に達することができませんでした。

５　今後の方向性

	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
今後の事業構成の妥当性 （手段は妥当か）	**Ⅰ．効果的な事業構成である** （現状のまま継続する） **Ⅱ．概ね効果的な構成である** （一部見直し等の余地がある） **Ⅲ．あまり効果的な事業構成でない** （見直し等の余地が大きい） **Ⅳ．事業構成に問題がある** （抜本的な見直し等が必要である）	**Ⅲ**	●カーボンニュートラル達成のためには一般家庭における太陽光発電設備の普及に向けた施策が必要と考えます。 ●このため、補助対象設備を拡充した地球温暖化対策設備設置補助金を創設し、より積極的に一般家庭における太陽光発電設備の導入を図ります。

６　外部評価の所見

●町民にとっては自然環境はもちろん、身近である電気代等のコストも高い関心がある。特に既存住宅へ普及促進するため、補助金を交付した家庭などからデータを提供してもらうなどして、家族構成別の実績・数値を見える化し、より一層の推進に取り組まれるよう望む。

７　所見を踏まえた改善点

●令和５年度より「地球温暖化対策設備設置補助金」として対象機器を拡大して事業開始したところですが、機器設置に伴う経済比較も含めて、住民や住宅メーカーにＰＲしてまいります。
●また、太陽光発電システムの補助金交付者からは発生電力量及び売買電力量の実績２年分の報告義務があるため、収集したデータをＰＲに活かしてまいります。

令和４年度 実施計画（施策評価シート）

１　施策の概要

政策体系上の位置づけ	基本構想（１層）	３．誰もが健康で居場所と出番があり共に支え合える地域づくり
	基本計画（２層）	３－（４）みんなが支え合う地域福祉の実現
	施策（３層）	３－（４）－４　地域での居場所づくりの推進
	プロジェクト	

担当課	健康福祉課	担当係	地域福祉係	行財政改革プラン記載の有無	無
関係課					

施策の主な課題	個人のライフスタイルの多様化に伴い、地域のつながりや社会とのつながりが希薄化しており、地域や社会への参加しやすい環境づくりや調整が求められています。
施策の方向性	地域住民の理解・協力するなかで多様な担い手が地域福祉に参加し、誰もが住み慣れた環境で、地域の中で役割を持ち、自分らしく暮らし続けられることができる社会を目指します。 【参加支援】 ・年齢・性別等に関係なく、地域において気軽に交流ができる居場所をはじめとする多様な場づくり ・就労支援や見守り等居住支援などの提供 ・生活支援体制整備事業等による取組

２　成果指標状況と成果の分析

成果指標		総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）		目標実績	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位等
	1	自主的な居場所づくりへの人的支援（延数）		目標値a	1	2	3	4	5	箇所
				実績値b	2	5				
		指標の説明	自主的に居場所をつくりたい団体等への人的支援の箇所数	達成率(b/a)	200.0	250.0	0	0	0	%
	2			目標値a						
				実績値b						
		指標の説明		達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	%

定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）	
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）	●居場所立上支援により、５箇所（新田、さくらさくよ、飯島ベース×まつだ屋、ティケ、アムール）が立ち上げ、継続できました。 ●居場所ミーティングが定例化できました。

3　施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事業コード 事業名	事務事業の概要 （簡素に記載）	主な取組実績	事業費（千円） 年度	予算額	決算額
1	2104 生活困窮者自立相談支援事業	●本事業の周知、相談に結びつく活動、支援人材の育成を目的として次の事業を実施します。 ●ひきこもりサポーター養成 ●相談窓口の周知 ●関係機関とのネットワークつくり（庁内、町内、専門機関等） ●安心して参加できる居場所づくり ●家族が参加する講習会、家族会開催 ●サポーター派遣事業の推進	●　サポータ養成講座１回（新規登録５人） ●社協定例相談12回、町・社協合計実相談人数（38人） ●ネットワーク取組：飯島町社協・県社協・まいさぽ・サポステ・つなぐ会・きらりあ・南信子どもサポートネット、地域住民・団体 ●飯島町社協８回、民間居場所２か所新設 ●精神科医講座等自殺対策と協働し２回開催 ●フォローアップなど研修２回	Ｒ３	2,589	2,464
				Ｒ４	2,087	1,738
				Ｒ５	1,242	
2	2308 介護予防拠点施設管理費	●飯島町介護予防等拠点施設コスモス園を指定管理制度により管理します。	●指定管理制度により業務を委託し、コスモス園を管理しました。	Ｒ３	505	503
				Ｒ４	509	509
				Ｒ５	509	

4　施策の進捗状況

	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
施策の進捗状況 （指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価）	**Ａ．順調に推移している** （目標達成している） **Ｂ．一定の進捗がある** （目標達成に向けて進捗している） **Ｃ．進捗は遅れている** （目標達成が遅れる可能性がある） **Ｄ．進捗は大幅に遅れている** （目標達成が難しい可能性がある）	A	●令和４年12月から「居場所ミィーテイング」を月に１回の定例化したことなどにより、自主的に居場所をつくりたい団体等への人的支援の箇所数が増加したため。

5　今後の方向性

	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
今後の事業構成の妥当性 （手段は妥当か）	**Ⅰ．効果的な事業構成である** （現状のまま継続する） **Ⅱ．概ね効果的な構成である** （一部見直し等の余地がある） **Ⅲ．あまり効果的な事業構成でない** （見直し等の余地が大きい） **Ⅳ．事業構成に問題がある** （抜本的な見直し等が必要である）	Ⅰ	●既存の制度や活動の棚卸を行いながら、地域活動の立ち上げ支援の継続と立ち上げた団体の活動や運営などに関する継続支援が必要です。

6　外部評価の所見

●可能であれば、町社会福祉協議会がとりまとめ役となることを望む。
●各団体がどのような活動をしているのかの情報提供、また、居場所が必要な方と各団体との信頼関係が築けるよう取り組まれることを望む。

7　所見を踏まえた改善点

●町は、ひきこもり状態にある本人及び家族に対する居場所づくりを、令和2年度から国の生活困窮者就労支援事業等補助金を活用し「ひきこもり対策推進事業」として飯島町社会福祉協議会へ委託して実施している。今後は、現在活用していない同補助金の「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」の実施について研究・協議していきます。
●居場所の周知や活動への理解を深めるため、町の広報媒体などを用いて住民へ情報提供していきます。
●居場所が必要な方と各団体との信頼関係は、その間を取り持つ調整役の機関・人材が重要になると考えるため、その体制確立について研究をしていきます。

令和４年度 実施計画（施策評価シート）

１　施策の概要

政策体系上の位置づけ	基本構想（１層）	４．地域特性を生かした産業の創造と振興のまちづくり			
	基本計画（２層）	４－（４）就農希望者への積極支援			
	施策（３層）	４－（４）－１　「アグリイノベーション2030」の仕組みづくり			
	プロジェクト	１．飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト			
担当課	産業振興課	担当係	農政係	行財政改革プラン記載の有無	無
関係課					
施策の主な課題	新しい農業の取り組みアグリイノベーションを推進する。				
施策の方向性	飯島町農業の担い手の一翼として期待される新規就農希望者を積極的に受け入れ、就農準備から経営開始後のアフターケアまで、関連機関と連携して支援します。 ・若い世代を中心とした新しい農業経営の創出				

２　成果指標状況と成果の分析

総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）				目標実績	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位等
成果指標	1	新規就農者数（延数）		目標値a	8	9	10	11	12	人
				実績値b	4	4				
		指標の説明	新規に就農者した人の数（飯島町第６次総合計画）	達成率(b/a)	50.0	44.4	0	0	0	%
	2			目標値a						
				実績値b						
		指標の説明		達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

定性的な成果（取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）	
指標等の成果分析（指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）	

3　施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事業コード 事業名	事務事業の概要 （簡素に記載）	主な取組実績	事業費（千円）		
				年度	予算額	決算額
1	3213 新規就農・経営継承総合支援事業	●就農５年後の農業者についても圃場巡回等状況の把握と支援の検討を実施 ●新規就農者の増加	●新規就農者について圃場確認を実施しました。 ●就農希望者の相談対応を実施しました。（新規就農者は４名）	Ｒ３	18,130	18,130
				Ｒ４	15,930	15,750
				Ｒ５	12,000	

4　施策の進捗状況

	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
施策の進捗状況 （指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価）	**Ａ．順調に推移している** （目標達成している） **Ｂ．一定の進捗がある** （目標達成に向けて進捗している） **Ｃ．進捗は遅れている** （目標達成が遅れる可能性がある） **Ｄ．進捗は大幅に遅れている** （目標達成が難しい可能性がある）	**B**	●新規就農者について圃場確認を実施しました。 ●就農希望者の相談・支援など一定の進捗があるため。

5　今後の方向性

	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
今後の事業構成の妥当性 （手段は妥当か）	**Ⅰ．効果的な事業構成である** （現状のまま継続する） **Ⅱ．概ね効果的な構成である** （一部見直し等の余地がある） **Ⅲ．あまり効果的な事業構成でない** （見直し等の余地が大きい） **Ⅳ．事業構成に問題がある** （抜本的な見直し等が必要である）	**Ⅱ**	●新規就農者について圃場確認を実施しました。 ●就農希望者の相談・支援など概ね効果的な構成となっているため。

6　外部評価の所見

●コロナ禍ということもあり、新規就農者としての実績が、多いのか少ないのか不透明な部分がある。就農した方の背景や状況を把握し、分析して、次の施策への展開を望む。

7　所見を踏まえた改善点

●就農希望者への支援について、就農した方の背景や状況の把握と分析に努めるとともに、就農準備から経営開始後のアフターケアまで関連機関と連携した支援ができるよう次の展開を検討します。

令和４年度 実施計画（施策評価シート）

1　施策の概要

政策体系上の位置づけ	基本構想（１層）	**５.暮らしを支える強靭で快適なライフラインの創造**
	基本計画（２層）	**５-（３）将来を見据えた都市づくり**
	施策（３層）	**５-（４）-３　特定空家等候補の抑制と空き家の適正管理及び利活用の促進**
	プロジェクト	**２.人口増プロジェクト**

担当課	建設水道課	担当係	調査計画係	行財政改革プラン記載の有無	無

関係課	総務課、住民税務課、地域創造課
施策の主な課題	・民事である空家の責任を行政に求める住民が増えている。行政関与の線引きと住民の意識改革が必要 ・今後、空家の相続放棄や管理放棄の増加が見込まれる ・危険度の高い空家の除却が進まない
施策の方向性	住宅については、都市計画等に沿って適正な誘導を行うとともに、空き家対策として、所有者自らが責任を持って維持管理していくことや空き家の利活用を推進します。また、暮らしのセーフティネットとなる公営住宅の適切な維持・活用に努めます。 ・特別措置法に基づいた空家対策の促進（特定空家の認定、住宅用地特例の除外、除却措置） ・空家の予防を強化（福祉部局との連携、死亡届時の意向調査、広報） ・国の補助事業を活用した危険空家の除却促進

2　成果指標状況と成果の分析

総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）				目標実績	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位等
成果指標	1	特定空家等候補数		目標値a	35	35	35.0	34	34	戸
				実績値b	35	37				
		指標の説明	老朽化Ｃ判定の空家総数（飯島町第６次総合計画）	達成率(b/a)	100	105.7	0	0	0	%
	2	空家のうち利活用された年間の件数		目標値a	25	25	25	25	25	件
				実績値b	19	28				
		指標の説明	売買や賃貸がなされた空家数	達成率(b/a)	76.0	112.0	0	0	0	%

定性的な成果（取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）	
指標等の成果分析（指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）	●補助事業の創設により、特定空家候補２件を解体してもらうことができました。 ●空き家所有者への意向調査を行い、賃貸や売買につなげることができました。

３　施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事業コード 事業名	事務事業の概要 （簡素に記載）	主な取組実績	事業費（千円）		
				年度	予算額	決算額
1	4532 空き家対策事業	●特定空家候補物件への継続的な指導・助言・通知の実施 ●空き家管理方法の意向調査に対し、未回答の所有者に継続的に調査を実施する。その中で、適正な管理の意識向上や管理方法の情報提供等	●特定空家候補物件へ補助事業を案内し２件が解体しました。 ●空き家調査の回答率 ➢３月末現在：55%	Ｒ３	96	27
				Ｒ４	1,058	1,005
				Ｒ５	1,563	

４　施策の進捗状況

	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
施策の進捗状況 （指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価）	**Ａ．順調に推移している** （目標達成している） **Ｂ．一定の進捗がある** （目標達成に向けて進捗している） **Ｃ．進捗は遅れている** （目標達成が遅れる可能性がある） **Ｄ．進捗は大幅に遅れている** （目標達成が難しい可能性がある）	**B**	●独居者の施設入所や死亡により空き家発生数は増えている中、空き家数の大幅な増加がみられないことは、本事業が除却や有効活用につながっているものと思われるため。

５　今後の方向性

	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
今後の事業構成の妥当性 （手段は妥当か）	**Ⅰ．効果的な事業構成である** （現状のまま継続する） **Ⅱ．概ね効果的な構成である** （一部見直し等の余地がある） **Ⅲ．あまり効果的な事業構成でない** （見直し等の余地が大きい） **Ⅳ．事業構成に問題がある** （抜本的な見直し等が必要である）	**Ⅰ**	●特措法に基づいた空き家対策（特定空家の認定）と補助事業をセットで進めていくことで、危険度の高い空き家を減らしていきます。 ●空き家所有者の意向を定期的に確認し、除却や有効活用を進めていくことで、空き家の削減に努めます。

６　外部評価の所見

●一定の成果を認めるが、空き家の活用がより進むように、所有者と活用者のマッチング等がより進むようＰＲなどに取り組みを。また、補助制度の周知もより取り組んでほしい。
●資料作成・提供資料について要望、評価するにあたり、数値の根拠を示してもらわないと、記載されていることが正しいのか判断できない。具体的には、空き家の発生数と活用数、いくつ増えて、いくつ活用されたのかがわからない。

７　所見を踏まえた改善点

●空き家に関する数値の整理を行い、有効活用に向けた情報発信に努めてまいります。

令和４年度 実施計画（施策評価シート）

1　施策の概要

政策体系上の位置づけ	基本構想（１層）	６．魅力向上で住みたい・住み続けたい地域づくり
	基本計画（２層）	６－（３）若者や子育て世代の人口を増やす
	施策（３層）	６－（３）－２ 若者がＵターンしたいと思える働き方や生活環境の整備
	プロジェクト	２．人口増プロジェクト

担当課	地域創造課	担当係	定住促進室	行財政改革プラン記載の有無	無
関係課					
施策の主な課題	若者が地域へ戻ってくるための仕組みづくり				
施策の方向性	若者・子育て世帯のUIターン数を増やすことで、定住人口を増やし暮らしやすい地域を将来へ繋いでいきます。 ・活力ある世代の定住を進めるための基盤づくり				

2　成果指標状況と成果の分析

成果指標	総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）		目標実績	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位等
1	民間宅地開発支援事業補助金の利用件数（年）		目標値a	－	10	10	20	－	件
			実績値b	－	2			－	
	指標の説明	民間宅地開発支援事業補助金を利用した件数	達成率(b/a)	#VALUE!	20.0	0	0	#VALUE!	%
2	住宅取得支援事業補助金の利用件数（年）		目標値a	－	10	10	20	－	件
			実績値b	－	31			－	
	指標の説明	住宅取得支援事業補助金を利用した件数	達成率(b/a)	#VALUE!	310.0	0	0	#VALUE!	%
3	住宅取得奨励金の利用件数（年）		目標値a	－	20	20	20	－	件
			実績値b	－	0			－	
	指標の説明	住宅取得奨励金を利用した件数	達成率(b/a)	#VALUE!	0	0	0	#VALUE!	%

定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）	
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）	●令和４年度は「飯島でマイホーム」住宅関連補助金を始めたことにより、若者世帯の「住む場所」の支援ができました。また、住宅取得に関しては町外者からの申請もいくつかあり、新築のみならず、中古住宅を取得する人も多く、移住・定住してもらうための補助金の目的に沿うことができたと思います。

３　施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事業コード 事業名	事務事業の概要 （簡素に記載）	主な取組実績	事業費（千円） 年度	予算額	決算額
1	1171 定住促進事業	●移住・定住のための相談やイベントの実施及び補助金の検討・運用 ●今後Ｕターン者もより増やしていくため、学生をターゲットにしたり、地元をより知ってもらうイベントなどを検討・開催 ●リフォームや空き家改修の補助申請が多く活用されていることから、補助の拡充を検討	●役場窓口による移住相談は変わらず実施しましたが、県外での移住セミナーは東京２回、名古屋１回と少ない開催となりました。その中でも、県や広域連合との合同セミナーではなく、町単独セミナーも東京で１回開催できました。 ●人口増プロジェクト内の定住促進ワーキンググループにて検討を進めた若者世帯等の定住を促進するための住宅関連補助金について、施行することができました。 ➢若者世帯の住宅等取得に際し、上限200万円を補助する「飯島町に光をそそぐマイホーム取得補助金」申請39件中、31件利用。 ➢３区画以上の宅地造成補助「飯島町民間宅地開発補助金」申請３件中、２件利用。 ➢若者世帯の住宅リフォームに際し、上限200万円を補助する「飯島町に光をそそぐ住宅リフォーム支援補助金」申請29件中、25件利用。	Ｒ３	29, 320	27, 355
				Ｒ４	118, 571	117, 264
				Ｒ５	76, 125	

４　施策の進捗状況

	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
施策の進捗状況 （指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価）	**Ａ．順調に推移している** （目標達成している） **Ｂ．一定の進捗がある** （目標達成に向けて進捗している） **Ｃ．進捗は遅れている** （目標達成が遅れる可能性がある） **Ｄ．進捗は大幅に遅れている** （目標達成が難しい可能性がある）	**Ｂ**	●「飯島でマイホーム」住宅関連補助金の施行ができ、多くの申請を受けることができたため。

５　今後の方向性

	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
今後の事業構成の妥当性 （手段は妥当か）	**Ⅰ．効果的な事業構成である** （現状のまま継続する） **Ⅱ．概ね効果的な構成である** （一部見直し等の余地がある） **Ⅲ．あまり効果的な事業構成でない** （見直し等の余地が大きい） **Ⅳ．事業構成に問題がある** （抜本的な見直し等が必要である）	**Ⅱ**	●補助金についての問い合わせや申請は想定以上に多く、反響の大きさが伺えます。引き続き「飯島でマイホーム」住宅関連補助金の取扱いに係る適正な事務執行を進めていきます。 ●補助金について更なる周知方法の検討を進めます。

６　外部評価の所見

●効果を認める。
●飯島でマイホーム関連の補助金が、１年目の施策なので、２年目、３年目の状況をみて、今後の判断を望む。
●補助制度のＰＲに、より取り組んでほしい。

７　所見を踏まえた改善点

●より広くＰＲ出来るよう方法を工夫しながら、引き続き補助金の適正執行に心掛けて参ります。また補助金の効果検証をし、今後に繋げてまいります。

令和４年度 実施計画（施策評価シート）

1　施策の概要

政策体系上の位置づけ	基本構想（１層）	７.「子どもの元気」と「学びの力」でいきいき豊かな暮らし			
	基本計画（２層）	７-（２）学校教育の充実			
	施策（３層）	７-（２）-２　ＩＣＴを活用した教育環境の充実と教育の推進			
	プロジェクト				
担当課	教育委員会	担当係	こども室	行財政改革プラン記載の有無	有
関係課	総務課				
施策の主な課題	機器の管理、教員のＩＣＴ環境への対応、児童生徒の運用モラル				
施策の方向性	学校教育を通じて、子どもたちが、「勉強して考える力」「内面を豊かにする力」「たくましく生きる力」をバランス良く身に付けられる環境の充実を図ります。 ・最新の教育環境情報を整理し、適切な環境整備を継続 ・「第２期飯島町子ども・子育て支援事業計画」に基づくＩＣＴ教育事業の推進				

2　成果指標状況と成果の分析

成果指標		総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）		目標実績	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位等
	1	教材提示装置整備率（飯島小学校、七久保小学校、飯島中学校）		目標値a	48	66	84	100	-	%
				実績値b	48	68				
		指標の説明	普通教室、特別支援教室への整備率（電子黒板、書画カメラ、タブレットＰＣのセット）	達成率(b/a)	100.0	103.0	0	0	#VALUE!	%
	2			目標値a						
				実績値b						
		指標の説明		達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

定性的な成果（取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）	
指標等の成果分析（指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）	

３　施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事業コード 事業名	事務事業の概要 （簡素に記載）	主な取組実績	事業費（千円） 年度	予算額	決算額
1	5221 飯島小学校教育振興費	●学習活動を学習指導要領に則り適正に実施 ●ＩＣＴ教育・ＧＩＧＡスクール構想に則した環境整備（ハード）を実施 ●ソフト（活用）面の充実・強化を実施 ●老朽化した教材等の更新を実施・経済的な理由で学習面で不利な児童生徒が出ないように、家庭の支援を実施（就学援助費）	●教材提示装置（電子黒板）を４台整備しＩＣＴ教育を推進しました。 ●教育クラウドプラットフォーム「まなびポケット」を導入しました。 ●準要保護就学援助22名に支給しました。 ●浄水場、下水処理場の見学を実施しました。	Ｒ３	15, 843	15, 553
				Ｒ４	13, 298	12, 451
				Ｒ５	13, 799	
2	5251 七久保小学校教育振興費	●長期化するコロナ禍での適正な教育活動の推進 ●ＩＣＴ機器の活用等の推進 ●コロナ禍での新しい教育活動（リモート活用など）の研究・検討・実施	●教材提示装置（電子黒板）を３台整備しＩＣＴ教育を推進しました。 ●教育クラウドプラットフォーム「まなびポケット」を導入しました。 ●準要保護就学援助7名に支給しました。 ●浄水場、下水処理場の見学を実施しました。	Ｒ３	10, 357	9, 808
				Ｒ４	7, 934	7, 567
				Ｒ５	8, 011	
3	5321 中学校教育振興費	●長期化するコロナ禍での適正な教育活動の推進 ●ＩＣＴ機器の活用等の推進 ●コロナ禍での新しい教育活動（リモート活用など）の研究・検討・実施	●教材提示装置（電子黒板）を３台整備しＩＣＴ教育を推進しました。 ●教育クラウドプラットフォーム「まなびポケット」を導入しました。 ●準要保護就学援助18名に支給しました。	Ｒ３	32, 899	32, 177
				Ｒ４	12, 779	11, 801
				Ｒ５	16, 062	

４　施策の進捗状況

	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
施策の進捗状況 （指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価）	**Ａ．順調に推移している** （目標達成している） **Ｂ．一定の進捗がある** （目標達成に向けて進捗している） **Ｃ．進捗は遅れている** （目標達成が遅れる可能性がある） **Ｄ．進捗は大幅に遅れている** （目標達成が難しい可能性がある）	**Ａ**	●当該年度の目標値を達成したため。

５　今後の方向性

	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
今後の事業構成の妥当性 （手段は妥当か）	**Ⅰ．効果的な事業構成である** （現状のまま継続する） **Ⅱ．概ね効果的な構成である** （一部見直し等の余地がある） **Ⅲ．あまり効果的な事業構成でない** （見直し等の余地が大きい） **Ⅳ．事業構成に問題がある** （抜本的な見直し等が必要である）	**Ⅰ**	●引き続き、計画的に整備を進めていきます。

６　外部評価の所見

●端末等の整備が進んでいることは評価できる。
●学校だけでなく家庭における平等な学習や電子教科書、学校からの通知の電子化等、早急な端末の活用を望む。また、ＩＣＴ化にともない教員のサポートをすることを望む。

７　所見を踏まえた改善点

●学校と情報を共有しながら状況を確認し、家庭での学習が平等にできるように必要なものを支援していきます。
●教科書や通知等の電子化について、学校や保護者の負担軽減の観点からも、早急に進めていきます。
●ＩＣＴ支援員を配置し、教員によって活用状況に差が出ないように支援していきます。

令和４年度 実施計画（施策評価シート）

1　施策の概要

政策体系上の位置づけ	基本構想（１層）	**8．将来像を実現する創造力にあふれた行政基盤づくり**
	基本計画（２層）	**8－（１）将来像を目指す仕組みづくり**
	施策（３層）	**8－（１）－2　プロジェクトチームの編成による施策の推進**
	プロジェクト	**2．人口増プロジェクト**

担当課	企画政策課	担当係	企画調整係	行財政改革プラン記載の有無	有
関係課	全課				
施策の主な課題	人口増（人口減少）対策				
施策の方向性	総合計画などの長期計画の着実な運用を図ることで、社会の変化に対応できる、将来にわたって暮らしやすい持続可能なまちづくりを進めます。また、住民ニーズの多様化に応えるため分野を超えて施策を実現していく仕組みをつくります。 ・プロジェクト・チームの設置及び運営に関する規程、飯島町第６次総合計画に掲げるプロジェクト推進のためのプロジェクトチーム設置要領に基づきプロジェクトチームを設置し、「飯島町第６次総合計画」「飯島町人口ビジョン」に基づく、人口増（人口減少）対策を推進				

2　成果指標状況と成果の分析

成果指標	総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）	目標実績	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位等
1	プロジェクトチームによる問題解決件数（延数）	目標値a	0	1	2	3	4	件
		実績値b	5	17				
	指標の説明：施策の事業化（新規・拡充等）件数（飯島町第６次総合計画）	達成率(b/a)	#DIV/0!	1700.0	0	0	0	%
2		目標値a						
		実績値b						
	指標の説明：	達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）	●飯島町第６次総合計画に基づく「人口増プロジェクト」の推進について、各ワーキンググループ会議において、町における影響・課題を分析し、それに対処する戦略（施策）を立案し、令和５年度の事業として具体化することができました。 ➢人口増プロジェクト全体会議（４回、オンライン研修会含） ➢情報発信・魅力向上ワーキンググループ会議（２回） ➢定住促進ワーキンググループ会議（２回） ➢子育て・婚活ワーキンググループ会議（２回） ➢保育・教育環境ワーキンググループ会議（５回）
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）	●施策を事業化（新規・拡充）したことにより目標値を達成することができました。 【情報発信・魅力向上】①事業公告宣伝業務 【定住促進】①ＵＩＪターン就業・創業移住支援補助金の創設 【子育て・婚活】①オンライン子育て相談サービスの開設②ファミリーサポート事業支援金の創設③不妊治療費助成金の拡充④出会いの場創出事業 【保育・教育環境】①保育士資格取得支援事業②保育士定着支援金③保育士宿舎支援金④紙おむつ回収処分支援事業⑤奨学金返還支援事業補助金の創設⑥スクールバスの増便 ●（参考）令和３年度（５件）、令和４年度（12件）

3　施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事業コード 事業名	事務事業の概要 （簡素に記載）	主な取組実績	事業費（千円）		
				年度	予算額	決算額
1				R３		
				R４		
				R５		

4　施策の進捗状況

	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
施策の進捗状況 （指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価）	**A．順調に推移している** （目標達成している） **B．一定の進捗がある** （目標達成に向けて進捗している） **C．進捗は遅れている** （目標達成が遅れる可能性がある） **D．進捗は大幅に遅れている** （目標達成が難しい可能性がある）	A	●ほぼ目標どおり達成できました。 ●令和５年度事業として12の施策を事業化（新規・拡充）することができました。

5　今後の方向性

	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
今後の事業構成の妥当性 （手段は妥当か）	**Ⅰ．効果的な事業構成である** （現状のまま継続する） **Ⅱ．概ね効果的な構成である** （一部見直し等の余地がある） **Ⅲ．あまり効果的な事業構成でない** （見直し等の余地が大きい） **Ⅳ．事業構成に問題がある** （抜本的な見直し等が必要である）	Ⅱ	●引き続き、町における影響・課題を分析し、中長期的な視野で問題解決に向けた方向性を示すため、それに対処する戦略（施策）を立案し、（１）人口減少と少子化の進行に緩和あるいは歯止めをかける戦略の創出（２）人口減少と少子化の進行する中であっても、持続可能な地域を実現する戦略の創出を進めていきます。

6　外部評価の所見

●引き続き、町における影響・課題を分析しつつ、企業誘致や就業等を踏まえた更なる人口増施策を望む。

7　所見を踏まえた改善点

●ご指摘を踏まえ、各ワーキンググループ等で検討を進めてまいります。

令和４年度 実施計画（施策評価シート）

1　施策の概要

政策体系上の位置づけ	基本構想（１層）	**８．将来像を実現する創造力にあふれた行政基盤づくり**
	基本計画（２層）	**８－（４）公共施設の適正管理・有効活用**
	施策（３層）	**８－（４）－２　施設の総量を段階的に減らす取り組み**
	プロジェクト	

担当課	企画政策課	担当係	財政係	行財政改革プラン記載の有無	無

関係課	全課
施策の主な課題	・多くの公共施設等が、近い将来一斉に改修・更新時期を迎え、多額の費用が必要になると見込まれる。 ・人口減少および少子高齢化に伴う財政状況の悪化により、固定費ともいえる公共施設等の更新に係る費用を、適正な水準に抑えることが喫緊の課題となっている。
施策の方向性	将来の人口の状況を見据えた中で、公共施設の維持管理や整備に必要な費用が住民の大きな負担とならないように、公共施設の有効活用や維持管理コストの効率化、施設の総量を段階的に減らす取り組みを進めます。 ・「飯島町公共施設等総合管理計画」及び各個別施設計画・長寿命化計画のもと、長期的な視点をもって、利活用の促進や統廃合・長寿命化の施策を計画的に行い、公共施設の更新等に係る財政負担を軽減 ・平準化するとともに、住民ニーズを的確に捉え、全庁的、総合的な管理を推進

2　成果指標状況と成果の分析

成果指標	総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）			目標実績	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位等
	1	公共建築物延床面積の抑制（延数）		目標値a	76,064	75,358	75,298	74,227	74,227	㎡
				実績値b	74,128	70,530				
		指標の説明	公共建築物延床面積を削減した後の面積（飯島町公共施設等総合管理計画）※R3実績値bは、R3決算書数値に修正	達成率(b/a)	97.45	93.59	0	0	0	%
	2			目標値a						
				実績値b						
		指標の説明		達成率(b/a)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

定性的な成果（取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）	
指標等の成果分析（指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）	●公共建築物の総量の削減が目標となっているが、各所管課における除却や統廃合の検討・実施が計画どおり進むよう実施計画や予算編成の折に調整を行い、全体の進捗管理に努めます。

3　施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事業コード 事業名	事務事業の概要 （簡素に記載）	主な取組実績	事業費（千円）		
				年度	予算額	決算額
1				R３		
				R４		
				R５		

4　施策の進捗状況

	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
施策の進捗状況 （指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価）	**Ａ．順調に推移している** （目標達成している） **Ｂ．一定の進捗がある** （目標達成に向けて進捗している） **Ｃ．進捗は遅れている** （目標達成が遅れる可能性がある） **Ｄ．進捗は大幅に遅れている** （目標達成が難しい可能性がある）	B	●令和４年度は、町営住宅および旧学校給食センターの除却が実施され、公共施設の総面積の削減への取り組みが行われたため。 【削減面積】683㎡ 豊岡町営住宅（248㎡） 旧学校給食センター（435㎡）

5　今後の方向性

	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
今後の事業構成の妥当性 （手段は妥当か）	**Ⅰ．効果的な事業構成である** （現状のまま継続する） **Ⅱ．概ね効果的な構成である** （一部見直し等の余地がある） **Ⅲ．あまり効果的な事業構成でない** （見直し等の余地が大きい） **Ⅳ．事業構成に問題がある** （抜本的な見直し等が必要である）	Ⅰ	●個別施設計画に基づき、公共施設の総面積の目標達成に向け、除却や統廃合・長寿命化等の施策が計画的に進められるよう、更新等に係る財源の確保や財政負担の平準化に努めます。

6　外部評価の所見

●住民の理解・協力を得ながら、飯島町公共施設等総合管理計画に基づき公共施設の総面積の目標達成に向け、除却や統廃合等の施策が計画的に進められるよう、また、財源の確保や財政負担の平準化を望む。

7　所見を踏まえた改善点

●公共施設は、それぞれ異なる目的と役割を担う施設であるため、除却や統廃合等を実施する際には、地域住民や関係者の皆様のご理解とご協力を得ながら進めるとともに、町の財政負担が最小限かつ平準化となるよう計画的に進めてまいります。

令和４年度 実施計画（施策評価シート）

1　施策の概要

政策体系上の位置づけ	基本構想（１層）	―			
	基本計画（２層）	―			
	施策（３層）	―			
	プロジェクト	１.飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」プロジェクト			
担当課	地域創造課	担当係	環境循環ライフ構想推進室	行財政改革プラン記載の有無	有
関係課	企画政策課、住民税務課、産業振興課、建設水道課				
施策の主な課題	この土地ならではの資源を生かし、産業を育てるとともに、人間本来の営みや人と人との頼り合い、心の平穏を育み、経済活動を超えて豊かに暮らせるまちの構築 解決に向けて取り組む地域課題「自主財源の確保」「脱炭素」「災害への備え」「山林の荒廃」「農業の担い手不足」「農村風景の保全」「地域活力の低下」「人口減少」				
施策の方向性	地域の資産・資源に価値を見出し、経済性の伴った事業を展開することで、環境・経済・社会の課題の同時解決を目指します。地域資源を活かし、消滅可能性都市から子どもたちが誇れる持続可能なまちを創っていきます。				

2　成果指標状況と成果の分析

総合計画・実施計画等に位置づけした指標名（指標の説明）				目標実績	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	単位等
成果指標	1	水力発電の設置予定数（年）		目標値a	－	－	－	1	－	基
				実績値b	－	－	－			
		指標の説明	町内に設置される予定の水力発電における系統接続申請数	達成率(b/a)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	#VALUE!	%
	2	木質バイオマス発電の設置予定数（ﾊﾞｲｵﾏｽ発電）（年）		目標値a	－	－	1	1	1	基
				実績値b	－	－				
		指標の説明	町内に設置される予定のバイオマス発電における系統接続申請数	達成率(b/a)	#VALUE!	#VALUE!	0	0	0	%
	3	バイオマス発電の排熱を活用した農業施設数（年）		目標値a	－	－	－	1	1	箇所
				実績値b	－	－	－			
		指標の説明	ｱｸﾞﾘｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ2030における排熱を活用した高度施設園芸数	達成率(b/a)	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	0	0	%
	4	いいじま体験プログラムの参加者数（ﾜｰｹｰｼｮﾝ）（延数）		目標値a	20	40	60	80	100	人
				実績値b	68	333				
		指標の説明	飯島流ワーケーションにおける体験プログラム及び宿泊者数	達成率(b/a)	340.0	832.5	0	0	0	%

定性的な成果 （取組を進めたことで発現した数値で測れない効果などについて記載）	
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を記載）	●水力発電事業や木質バイオマス発電事業はエネルギー事業であり、稼働安定性や持続可能性及び経済性を見定めた上での事業立案が必要です。 ●そのために実現可能性調査を進めているが、だれが？いつ？どこで？どのように？などスケジュールの見える化と官民連携に向けた体制作りが必要です。 ●飯島流ワーケーション事業については、目標値として定めたいいじま体験プログラム等の参加者数（ワーケーション）を大きく上回っています。 ●顧客確保が課題であり、他の町内宿泊業関係者と連携した取り組みの必要性を感じています。

３　施策を構成する主な事務事業の評価

番号	事業コード 事業名	事務事業の概要 （簡素に記載）	主な取組実績	事業費（千円） 年度	予算額	決算額
1	1176 環境循環ライフ構想推進費	●飯島ルネサンス「環境循環ライフ構想」具体化のため、プロジェクト会議を年５回以上開催し、方向性を協議 ●目指す姿を明確にし、町民への説明・企業等への協議	●環境循環ライフ構想プロジェクト会議の開催（３回）●環境循環ライフ構想における国（総務省、農水省、環境省）との協議（６回）●水力発電事業における長野県企業局との協議（７回）●飯島町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定業務における水力発電に関する実現可能性調査の実施（令和５年３月）●木質バイオマス発電事業における実現可能性調査の実施（国庫補助事業を活用し、３～５年以内に実現可能な公共施設や将来構想における計13箇所の調査を実施）●「アグリイノベーション2030」における農業用ハウスへの熱供給・規模感の検討（規模感・概算事業費の見える化）	Ｒ３	2, 564	2, 215
				Ｒ４	14, 839	14, 551
				Ｒ５	3, 060	
2	1178 飯島流ワーケーション事業	●３密対策不可避な都市部の「生活・働く」に、地方での「生活・働く」の選択肢をプラスし、「観光・農業」による癒しの要素を加え、新たな地域移住の需要の受入れ体制の構築 ●新しい生活様式による地方でのスローライフを提案	●都市部企業への訪問、プレゼンテーションの実施（関東方面６社訪問、中京方面13社訪問）●飯島流ワーケーション推進協議会員の拡充（15団体）●飯島流ワーケーション推進協議会策定会議の開催（６回）●情報周知（ワーケーションホームページ、体験プログラムホームページ、インスタグラム、YouTube、フルライフ倶楽部、エアビーアンドビー）●飯島流体験プログラムの拡充（62メニューを体験プログラムホームページへ掲載）●企業向けモニターツアーの実施（２回）●宿泊拠点施設（ｉｉネイチャー春日平）の活用推進（令和４年度宿泊実績104泊333人）	Ｒ３	—	—
				Ｒ４	10, 005	9, 740
				Ｒ５	21, 648	

４　施策の進捗状況

	区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
施策の進捗状況 （指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業評価等から総合的に評価）	**Ａ．順調に推移している** （目標達成している） **Ｂ．一定の進捗がある** （目標達成に向けて進捗している） **Ｃ．進捗は遅れている** （目標達成が遅れる可能性がある） **Ｄ．進捗は大幅に遅れている** （目標達成が難しい可能性がある）	**Ｂ**	●水力や木質バイオマス発電事業はエネルギー事業であり、稼働安定性や持続可能性及び経済性を見定めた上での事業立案が必要、そのために実現可能性調査を進めているが、スケジュールの見える化と官民連携に向けた体制作りが必要であるため。 ●飯島流ワーケーション事業については、目標値として定めた参加者数（ワーケーション）を大きく上回っていますが、顧客確保が課題であり、他の町内宿泊業関係者と連携した取り組みの必要性を感じているため。

５　今後の方向性

	区分	選択区分	事業構成の妥当性を選択した理由及び今後の方向性
今後の事業構成の妥当性 （手段は妥当か）	**Ⅰ．効果的な事業構成である** （現状のまま継続する） **Ⅱ．概ね効果的な構成である** （一部見直し等の余地がある） **Ⅲ．あまり効果的な事業構成でない** （見直し等の余地が大きい） **Ⅳ．事業構成に問題がある** （抜本的な見直し等が必要である）	**Ⅱ**	●引き続き、本構想の具体化を図り、持続可能なまちづくりにおける方向性を示します。また、構想におけるエネルギー事業は事業立案から施設の設置・稼働までに多くの許認可関係への対応や関係者とのパートナーシップが重要となります。令和５年度は木質バイオマス事業における体制づくりを進めます。

６　外部評価の所見

●ワーケーション事業については、宿泊数は目標を上回っているが、その利用者が本来の事業目的に沿った形の利用者となっているのか分析をしっかりと行い、今後の施策の展開を望む。
●バイオマス発電については、材の確保や供給体制等の課題もあり慎重に進めてほしい。実現可能性調査を踏まえ、熱供給事業は小さな規模での実施でよいと考えるが、発電事業については、見直しを検討してもよいのではないか。また、「環境循環」ということから、地球温暖化対策等を含め、環境関連全体の視点を持って構想のあり方を見直すことも必要ではないか。

７　所見を踏まえた改善点

●飯島流ワーケーション事業につきましては、現時点では、１泊２日や２泊３日での宿泊施設としての利用が多い状況です。まずは泊まっていただき、この事業や施設を知っていただくことも重要な部分だと考え、進めているところです。本来の事業目的に沿った形を目指す中で、多くの宿泊者の中からリピーターが増え、農業体験等のオプション利用につながり、企業による長期滞在利用へとつなげていきたいと考えておりますので、分析の上、施策の展開を図ってまいります。
●木質バイオマス発電事業につきましては、非常時の電源確保以外に「災害に強い森林」を育んでいくことも目指す成果であるため、町の森林資源量に応じた持続性のある事業として取り組みを進めてまいります。また、地球温暖化対策における本構想のあり方についても、地域課題の解決と脱炭素社会の実現を目指す取り組みとして検討してまいります。